

<資料1> 退行（赤ちゃん返り）

低年齢の里子は、里親の家庭に移された当初、しばしば「赤ちゃん返り・試し行動」と呼ばれる「退行」した姿を見せる。また、やや高年齢の子も、新しい環境で、里親の反応を試すかのように、それ迄見せなかった行動をすることもある。以下に調査票3頁)2)3で里親の記した自由記述を収録した。

内容は「赤ちゃん返り」の言葉通り、自分が体験できなかった幸せな母と子の関係を、再体験・追体験しようとするかのような退行的行為と、今まで抑制していた（させられていた）欲求を行動化し、周囲の反応を確かめようとするかのような姿である。事前の里親研修で、予備知識はあっただろうが、里親として通過する関門の1である。

注)冒頭の数字はサンプルナンバーで、次は、3頁)2、**養育の難しさ**（育てるのが、ひどく難しい子 育てるのが、ふつう位の難しさの子、わりと育てやすい子、とても育てやすい子）で、次の4個の数字は、5頁)1。**気持の通じ合い**：（1.どうしても、気持ちを通じ合わない 2.時々、通じないと思うことがある、3.わりと、気持ちを通じている 4.とても、気持ちを通じている）、2.子育ての中で、**里母が完全に自信を無くしてしまったこと**：（1.わりとそうだった 2.少しそうだった 3.あまりそうでなかった 4.そうでなかった）、3.**家庭養育より施設養育の方が向いている子かもしれない**と：（1.度々思った 2.たまに思った 3.思わなかった）、6頁4.**養育返上を思ったこと**：（1.何度も真剣に考えた 2.何回かある 3.返上したい気持ちは、ほとんどなかった 4.全くなかった）である。また*の後には、委託される迄いた環境を示した。

<構成>

- 1.退行する、乳を探る、赤ちゃん言葉をつかう、わがママをする
- 2.いらだち、抑制が外れたかのように暴れる
- 3.まとめ

<事例>

1.退行する、乳を探る、赤ちゃん言葉をつかう、わがママをする

58 女子（2歳で委託、翌日から1年間位続く）、2.1.3.2 *乳児院から all 1 翌日から2足歩行をしなくなり、はいはいや抱っこをせがむ。トイレの中まで、里母の後追い。固形物は噛んだ後吐き出して、1カ月ほどは離乳食。その後、夜驚、夜泣き。

145 男子（4歳で委託、来て1か月位から1年位つづく）、4.2.2.2 *養護施設からお風呂に入っていると、お乳を触ったり、噛んだりで驚きました。この子はお乳を吸うこ

とも知らないのではと、お乳を吸うことを教えました。誰の服にも手を入れて、おっぱいもみを始めたりしました。

586 男子（2歳で委託、すぐ始まって、6カ月位続く）、4.2.3.2 *乳児院から
コップに入ったジュースなど、里母の顔を見て、わざと床やジュタンに撒き散らす。思い通りにならないと、里母を叩く（今でも）。「赤ちゃん」していて、抱きついて、オッパイを飲む真似をする。来てからまだ期間が短い。

814 女子（4歳で委託、すぐ始まりまだ4カ月間）、3.4.3.4 *乳児院から
「赤ちゃんと呼んで」と言う。そして、バブーと赤ちゃんになって、はいはいをしたり、「おっぱい」と言って、胸に顔を埋めたりする。疲れると赤ちゃん言葉になる。食卓では、得意でないものは、「食べさせて」と言う。

053 女子（4才で委託、すぐから始まって現在（7歳）も）、2.2.2.4 *児童養護施設から
とにかく「おっぱい、おっぱい」と言って、触ったり、キスしたりする。自分のことを「バブちゃん」と言う。5歳半まで、毎日里母の股の匂いをかいだり、頭を埋めようとしたり、舐めようとしたりする。時どき、食事を口に入れてやらないと、食べなくなる。やたらにだっこされたがる。外ではお姉さんばいらしい。

794 女子（7歳で委託、現在10歳迄続く）、3.3.3.4 *児童養護施設から
自分でやりたくない時は、全く赤ちゃんと同じ行動をくり返す。歩かない、しゃべらない、聞かない、泣き叫ぶだけ。おなかにタオルを入れて、妊婦の真似をする。出産のシーンも繰り返す。

106 男子（5歳で委託、すぐから7か月位まで）、3.2.2.2 *乳児院・児童養護施設
気に入ったぬいぐるみを抱いて、赤ちゃん言葉をつかう。里母と寝ないとだめ。外から帰ると、必ず大声で、里母を探す。

087 男子（6歳で委託、6カ月から始まって3年位続く）、2.1.3.3 *児童養護施設から
胸を触り「ふにゃ、ふにゃ」という。「おんぶ」「だっこ」を繰り返す。

223 女子（7歳時点で、1週間から3年位続く）、4.4.3.4 *実親の家庭から
自分のことは何でもできる子だと聞いていたが、気替えを全くしなくなった。下着をつけるときは、あかちゃんのように気替えさせた。

868 男子（4歳で委託、1か月から1年位まで続く）、4.4.3.4 *実親の家庭から
「ご飯いらない、お菓子を食べる」という。夜1人で寝ると言う。赤ちゃんごっこをする。一人で脱げない、着られない、家ではウンチを一人でやらない。

894 女子（6歳で委託、1か月位から1年間位）、2.1.3.3*乳児院・児童養護施設から
家事で忙しく、相手になってやらないと、吹き抜けから2階に上がり、片足を垂らした。雨で友だちと遊べなかったり、思い通りにならないと、里母や里父を叩いたり、けったりする。「右側に置いて」というと左に置いたり、好きでない食べ物を「おいしい、おいしい」などと言う。里母の服に潜って、首から顔を出し、生まれると言う「バブバブ遊び」をし、

やたらに「おんぶ、抱っこ」という。委託されて、初めは養子がほしかったが今はそう思わない。

831 男子（2歳で委託、すぐから、4歳4月の現在迄続く）,4.1.3.2 *乳児院から
哺乳瓶で飲み物を飲む、歯固めを買ってほしいとせがみ、くちゅ、くちゅしていたが、最近は、ご飯を食べさせてもらったり、歯磨きをしてもらって、満足している。

804 男子（2歳で委託、,2.1.3.2 試し行動というより、来た時から8歳5月の現在まで、赤ちゃん状態（赤ちゃん願望）がずっと続いている感じがします。指しゃぶり、泣きわめき、おねしょなど。

846 男子（6歳で委託、6カ月位してから4年間続いている）,3.2.2.2

*児童養護施設から

手で何でも食べる。5年生の中ごろまで一人で寝られず、添い寝をした。4年生までトイレでお尻を拭いてあげたり、おしっこの時チンチンをもってあげた。

843 男子（7歳で委託、半月ぐらいから半年ぐらい続く）,3.1.2.3 *乳児院・児童養護施設から

おねしょ、指しゃぶり、ひとりで出来るのに「着せて、ぬがせて」「こちょこちょして」を1時間位せがむ。「ぬいぐるみと自分とどっちがかわいい?」と焼きもちを焼き、今でも、本当に焼きもちを焼きます。委託後しばらくは、いのちを軽視する言葉よく使い、「綺麗な花ね」と指さすと、その花を踏みつけたりした。

2.いらいだち、抑制が外れたかのように暴れる

896 男子（3歳で週末里親、6歳で長期委託に）,2.2.2.4 *乳児院・児童養護施設
長期委託になってから、食事を撒き散らす、今まで出来ていた着替え等しなくなる。上の子にやきもちを焼く、わざと怒らせるようなことをする。

150 男子（8歳で委託、1カ月から1年位）,3.2.3.3.*乳児院・養護施設から
発する言葉の6割程度が「あほ、ばか、かす」などで、「エロ」等の罵声も入る。「ブス、ナスビ」が加わった時は、語彙が増えたと感心したほど。毎日毎日、「着る物がない、食べる物がない」と暴れ、理由を聞くと、上記のような返答。

071 女子（1歳で委託、すぐ始まり、3、4か月位続いた）,2.3.3.4

ペットを叩く、食べ物をはひっくりかえず、物を壊す。

861 女子（4歳で委託、1か月から1年以上続く）,2.2.1.1 4頁7~12all 1

*実親の家庭から

自分の要求が通らないと、外に向かって「アバ、アバ、アバ」と、大声でいって泣き叫ぶ。
年下の子と遊んで、ケンカしても、里親のところに来て助けを求める。

283 女子（8歳で委託、すぐから6か月間位）,3.2.3.3*乳児院・児童養護施設から
マッチング中と委託後は、服や食べ物の好き嫌いががらりと変わって、驚きました。家のあちこちに唾を吐いたり、鼻くそをついたりしました。言葉づかいも悪くなり、「ババァ」

とよく言われました。

085 男子（4歳で委託、2週間位から2年間位続く）、2.1.1.2 *実親の家庭から
里母と2人になると、食べることに、食べても食べても終わらないような時があっ

144 女子（2歳で委託、来て1カ月位から1年位）、4.1.3.4 *乳児院・児童養護施設
から

自分の髪の毛をたばで抜く。保育園の友だちに、突然かみつく。友だちのおもちゃを全部
取り上げ、自分の物という。他の親たちから、落ちつきがないと白い目でみられた。（里母
はあまり気にならなかった）触ってはいけないもの、壊れやすいもの（ストーブ、扇風機
など）を、注意しても触る。

876 女子（4歳で委託、来て1カ月から1年位つづく） 3.2.3.4 *児童養護施設から
里母を足で蹴る。叩く。バカにしたような口調で物を言う。週末里父がいない時が多く、
ちょっとしたきっかけで暴れ出し、止まらない。おとなを信用していない。

875 女子（3歳で委託、数日で始まり、1,2年続く）、3.2.1.2 *乳児院・児童養護施設
から

とにかく言うことを聞かない。「こうしたら」と言っても、全く逆のことをするなど、こち
らの気持ちを逆なでするようなことをする。音楽会などで、自分が嫌になると、声を出し
たり、物音をだしたりするので、「静かにしようね」というと、よけい大声を出す。

3.まとめ

委託当初のこうした行動は、里親研修の時にも十分学習していたと思われるが、それで
も里子養育の第1関門であろう。赤ん坊時代を具体的に再体験したいとする行動は、里子
たちの中に、ある割合で、「養育的な母親の下に育てられなかった不幸な自分」への思いを
抱えたままの子どもがいることを暗示している。